

事業名	ゆずりはら青少年自然の里運営費		
細事業名	管理運営委託費	財務コード	465502
担当部課室	教育委員会 部 社会教育 課 社会教育振興 担当 (内線)		8356

事業の概要

実施期間	始期 H28 年度 ~ 終期 H32 年度		
実施主体	指定管理者(上野原市)		
事業の目的	だれ(何)を対象に 児童・生徒及びその指導者 家族、関係団体	その対象をどのような状態にして 自然や人とふれあう集団生活を通して、自律、責任、協力、友愛、奉仕等の 尊さなどを体験的に学習できる	結果、何に結びつけるのか ふるさとを愛するたくましく心豊かな青少年の育成
	1 利用の承認に関する業務 2 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 3 利用者への指導・支援業務、体験普及事業等 27年度受入団体数 260団体 活動プログラム(利用者に対して提供している体験活動) ウォークラリー<沢渡~小桐コース> オリエンテーリングA~Dコース 自然散策<沢渡~小桐コース> 川遊び キャンプ生活 キャンプファイヤー キャンドルファイヤー ネイチャーゲーム 体験ゲーム 酒まんじゅう作り ウッドクラフト ちぎり絵 竹細工(竹とんぼ、はし、紙玉鉄砲) その他のクラフト(勾玉作り、森の万華鏡) 軽スポーツ(室内カーリング、卓球、ミニ卓球、ディスクゴルフ等) その他(登山、ハイキング、合唱練習、合奏練習) 自主事業(体験活動、野外活動を実践するために活動プログラムとは別に企画・実施する事業) (10事業) ()内参加者数 ・「さとっ子クラブ」年18回実施(延べ1,083) ・春の自然塾(17) ・秋の自然塾(19) ・ちびっ子キャンプ(47) ・ちびっ子キャンプ(37) ・さとやまキャンプ(17) ・親子自然体験教室自然と遊ぼう(28) ・親子自然体験教室自然と遊ぼう(38) ・小学生対象国際交流事業もちつきサミット(63) ・冬のちびっ子キャンプ(30)		
根拠法令等	山梨県立青少年自然の里設置及び管理条例		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	26年度		27年度		28年度	29年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	自主事業の開催回数	24回	32回	27回	31回	32回	活動指標 目標設定の考え方 「H27年度の自主事業計画」をもとに設定 稼働率の実績を参考に設定 データの出典等 事業計画書 事業報告書
	稼働率	60.4%	65.0%	65.5%	68.0%	70.0%	
	活動指標達成率 (実績値/目標値)			%			
成果指標	利用者数	11,177人	12,000人	12,197人	12,240人	12,485人	成果指標 目標設定の考え方 利用実績を参考に設定 前年度満足度を参考に設定 データの出典等 事業報告書 モニタリングシート
	利用者満足度	94.0%	100.0%	96.0%	100.0%	100.0%	
	成果指標達成率 (実績値/目標値)			%			
決算額又は予算額 (千円) うち一財額	35,176 31,384		35,100 30,910	33,128 29,428	33,154 29,154	成果指標によらない成果	
所要時間(直接分)	2,661 時間		2,686 時間	2,686 時間	2,686 時間		
所要時間(間接分)	時間		時間	時間	時間		
所要時間計	2,661 時間		2,686 時間	2,686 時間	2,686 時間		
人件費コスト 単位:千円 (@2,044円×所要時間)	5,439		5,490	5,490	5,490		

これまでの事業の見直し・改善状況

平成22年度から施設利用者へのサービス向上のため、「愛宕山少年自然の家」「ハヶ岳少年自然の家」との定期的な情報交換の場である「ネットワーク協議会」を開催し、検討結果をプログラムの内容に反映させている。また、施設利用者が減少する冬期の自主事業に新たな学習プログラムを取り入れた。

活動量と成果の判断(平成27年度の業績評価)

(1)事業は予定された活動量を上げているか(「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H27年度活動指標の達成率		<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業開催については、84.3%達成されており予定どおりの活動量がある。 ・稼働率についても、目標値を超えており予定どおりの活動量がある。
	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)
 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2)事業は意図した成果を上げているか(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること
H27年度成果指標の達成率		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は、新型インフルエンザの流行や東日本大震災の影響で一時的に低迷した時期があったが、元の水準を回復して増加に転じており、現在は意図した成果をあげている。 ・安全かつ快適に施設が利用できるよう適正に維持管理が行われていることや、職員の利用者への細やかな心配りなどから、利用者満足度は95%を超えており、意図した成果を上げている。
	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	県立の「宿泊施設」と、市立の「体験活動施設」が一体として管理運営されており、宿泊しながら地域性も取り入れた多様な体験活動を提供できることが大きな特徴であり、利用者からの高い満足度も維持しているが、首都圏に隣接する立地の影響から、県外からの宿泊利用者の割合が高くなっている。県内の利用数も増加傾向は維持しているものの、今後さらに利用者増加につなげていくため、県内全域の学校に対して利用を促すPRや、利用者が少ない冬期に自主事業として魅力あるプログラムを提供する取り組みを強化する必要がある。	b

・「以外の判断項目」の欄
 a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託
 i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: プロセスの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化、児童・生徒数の減少や利用形態の変化もあることから、当該施設のあり方を、現在の指定管理期間が終了する平成32年度末までに地元市と協議していく。 	b

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
実施方法等の変更	<ul style="list-style-type: none"> ・ハヶ岳少年自然の家、愛宕山少年自然の家とあわせた県内青少年教育施設のあり方、現状の3館体制について、平成28年度中に庁内検討会議を設置し、必要に応じて有識者の意見を踏まえ検討していく。 ・また、検討結果を踏まえ、現在の指定管理期間内に譲渡の可能性を含めた施設運営の方向性を上野原市と協議する。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止(施設については「譲渡」)」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること
 ・見直しが無い場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること

	課題と見直しの方向性
県の施設としての必要性	<p>(国、市町村または民間の類似施設の状況、業務(機能)の必要性、施設の必要性(当施設がないとできないか)、必置規制等を踏まえ県が設置する個別の理由はあるか等)</p> <p>県は、新やまなしの教育振興プランにおいて、家庭・地域・学校が連携した教育の実現に取り組むための施策の方向性の一つとして、青少年の体験活動の充実を挙げている。</p> <p>また、学校教育法及び学習指導要領においては、自然の中の平素とは異なる生活環境で、基本的な生活習慣や公衆道徳などの体験を積み、規律正しい集団宿泊活動、自然体験活動やボランティア活動など、さらなる体験活動の充実が求められていることから、県として、すべての青少年が多様で豊かな体験活動を経験できる機会や環境を整備する必要がある。</p> <p>当施設は、青少年の自立と社会性を育み、地域の文化、資源を生かした体験活動を提供する富士東部地域における県内唯一の施設である。</p>
廃止・移譲・集約化・複合化等	<p>(廃止した場合の影響、市町村・民間等への移譲の検討、類似施設・近隣施設との集約化・複合化の可能性等)</p> <p>当施設は平成15年度で用途廃止となった「県立青年の家」の代替施設として、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」第22条に基づく、「財産の処分制限」の適用を受けている。(国への補助金返還が発生する恐れがある。)</p> <p>また、「八ヶ岳少年自然の家」や「愛宕山少年自然の家」とは異なり、山間地域の恵まれた自然環境の中で、風土に根ざした伝統文化や伝統産業に接することで、ふるさとを愛する心豊かな青少年を育てていく特徴があり、今後も貴重な体験活動の場として存続させることが必要である。</p>
管理方法	<p>(指定管理者制度の導入の可否、指定管理者制度導入の効果、業務委託・職員配置・利用料金は適正か等)</p> <p>平成18年度から指定管理者制度を導入し、上野原市への管理指定を行っているが、県立の宿泊施設と市立の体験活動施設(地域交流館)の両施設が一体となって共存することで、利用者に宿泊と多様な体験活動を同時に提供できる施設となっている。上野原市が施設を管理運営していくことで、ボランティアなど有効な地域資源を活用し、効果的な施設運営に結びついている。</p>
利用状況	<p>(利用者の増減理由、利用者増に向けた取組、利用者が少ない施設の根本的な改善策、利用者の意見を取り入れているか等)</p> <p>年間の利用者数は、平均1万人を超えており、増加を続けている。特に、県内利用者数がおよそ4千人台で微増しているのに対して、県外利用者数が伸びていることで、平成27年度は1万2千人の目標値を達成した。</p> <p>小中学校へのPRなど地道な誘客活動により、春から初秋にかけては利用者が集中するものの、冬期には利用が伸びないため、引き続き自主事業の工夫や、同種の施設が連携して行っているネットワーク協議会等で冬期プログラムの開発などに努めている。</p>
効率性	<p>(収支の状況・利用者1人当たりの経費の状況は効率的か、業務内容の効率性・経費の効率性から見て、改善の余地はないか等)</p> <p>当施設は、「八ヶ岳少年自然の家」「愛宕山少年自然の家」とは異なり、小規模な集団での生活、文化の体験学習、自然体験により、きめ細かな指導を提供している。</p> <p>施設利用者は毎年増加し、利用者1人当たりの経費は毎年減少していることから、効率的な施設運営が行われている。</p>
規模の適正性	<p>(施設の規模は業務内容に照らして適正か、未利用の部屋・施設はないか、施設更新時の減築の可能性等)</p> <p>小・中規模の学校や団体にとって、100人を定員とする当該施設のプログラムや設備は利用しやすい環境にあり、今後ますます需要が伸びていくと考えられる。長期にわたり、未利用となっている部屋・施設はなく、家族棟やバリアフリーに配慮した身障者棟も有効利用されており、施設の規模は業務内容に照らして適正である。</p>
社会環境の変化	<p>(当初目的は達成しているのではないが、事業量は適正か、県民ニーズの変化に対応しているか等)</p> <p>当施設の目的は、集団生活をしながら、地域における生活文化の体験学習ができることである。</p> <p>少子化、核家族化などの生活環境の変化で、日常生活の中での体験が少なくなっている季節感のある伝統的な地域文化に触れる「体験活動」は、郷土愛や青少年の豊かな精神を育む効果的な取り組みであり、今後もさらにプログラムを発展させ多くの青少年に体験活動の場を提供していく必要がある。</p>
その他の課題	<p>(老朽化の状況、耐震化未実施施設の状況、改築の必要性等)</p> <p>利用者アンケートの結果は高い満足度を示しているが、施設設置から17年が経過しており、今後、建物及び設備の計画的な維持・保全が必要となってくる。</p>

例示の項目を十分に踏まえた記載とすること。

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成27年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立ゆずりはら青少年自然の里	所管課	教育委員会 社会教育課
所在地	上野原市桐原13880	設置年月日 (改築年月日等)	平成10年7月14日
指定管理者	上野原市		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青少年自然の里設置及び管理条例		
設置目的	自然の中で、集団生活を通じて自律、協同などを体験的に学習する場を提供すること。主催者事業の実施を通じ、自然の中でふるさとを愛するたくましい青少年を育成する機会を提供すること。		
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 約33,000㎡ ○延床面積 約 2,016㎡ ○施設の内容 《本館棟》 (847.133㎡) ・ラウンジ ・食堂 ・多目的ホール ・事務室 《一般宿泊棟》 (491.400㎡) ・3棟[寝室4室、広間、リーダー室、トイレ、洗面所、26人] 《家族・身障者棟》 (414.993㎡) ・家族宿泊室:4室[4人用] ・身障者宿泊室 ・リーダー室 ・浴室 ・身障者用浴室 《その他》 ・屋外炊事場棟(43㎡):調理台×4、流し×8、かまど×6 ・キャビン棟:ミーティングルーム ・キャンプ場:キャンプ場トイレ		
主な業務内容	利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 地域における生活文化の経験学習に関する業務 野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 野外活動及びレクリエーションに関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	上野原市立地域交流館 山梨県立なかとみ青少年自然の里:定員108人:H27利用者数 6,165人 (※平成28年4月1日廃止) 山梨県立愛宕山少年自然の家:定員150人:H27利用者数 18,228人 山梨県立八ヶ岳少年自然の家:定員210人:H27利用者数 41,015人
------------------------------	---

3 利用状況

単位：人、%

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (目標値)
利用者数	宿泊利用者数	8,684	8,210	9,178	
	キャンプ場利用者数	1,085	972	975	
	日帰り利用者数	2,092	1,995	2,044	
	利用者数合計	11,861	11,177	12,197	
	目標値	12,000	12,000	12,000	12,240
	目標値設定の考え方及びその理由	H25は、震災前の影響が少なくなったため、震災前の目標値に設定。 (H26、H27は、H25に達成できなかったため同じ目標値とした。)			
	対25年度比	-	94.2%	102.8%	103.2%
利用率(宿泊利用)		67.0%	60.4%	65.5%	

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成26年度	平成27年度 (計画値)	平成27年度 (実績値)	平成28年度 (計画値)
収入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	35,176,000	35,100,000	35,100,000	33,128,000
	その他	426,967	2,979,000	290,302	4,362,000
	収入合計(A)	35,602,967	38,079,000	35,390,302	37,490,000
支出	人件費	19,286,469	20,461,000	18,914,619	20,238,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	16,316,498	17,618,000	16,475,683	17,252,000
	うち外部委託費(B)	4,506,101	5,335,000	5,253,461	5,487,000
支出合計(C)		35,602,967	38,079,000	35,390,302	37,490,000
収支差額(A-C)		0	0	0	0
外部委託比率(B÷C)		12.7%	14.0%	14.8%	14.6%
利用者一人当たりの経費		3,147.2	2,925.0	2,877.8	2,706.5

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成27年4月～平成28年3月 実施方法:県立ゆずりはら青少年自然の里利用団体へのアンケート 回答数:41団体
-------	--

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
① 施設までのアクセス	92.7%	0.0%	0.0%	4.9%
② 申し込み方法	90.2%	0.0%	0.0%	2.4%
③ 料金	92.7%	0.0%	0.0%	2.4%
④ 活動プログラム	78.0%	0.0%	0.0%	4.9%
⑤ 貸出道具	80.5%	0.0%	0.0%	4.9%
⑥ 食事内容	61.0%	24.4%	7.3%	0.0%
施設全般の満足度	90.0%	6.0%	3.0%	1.0%

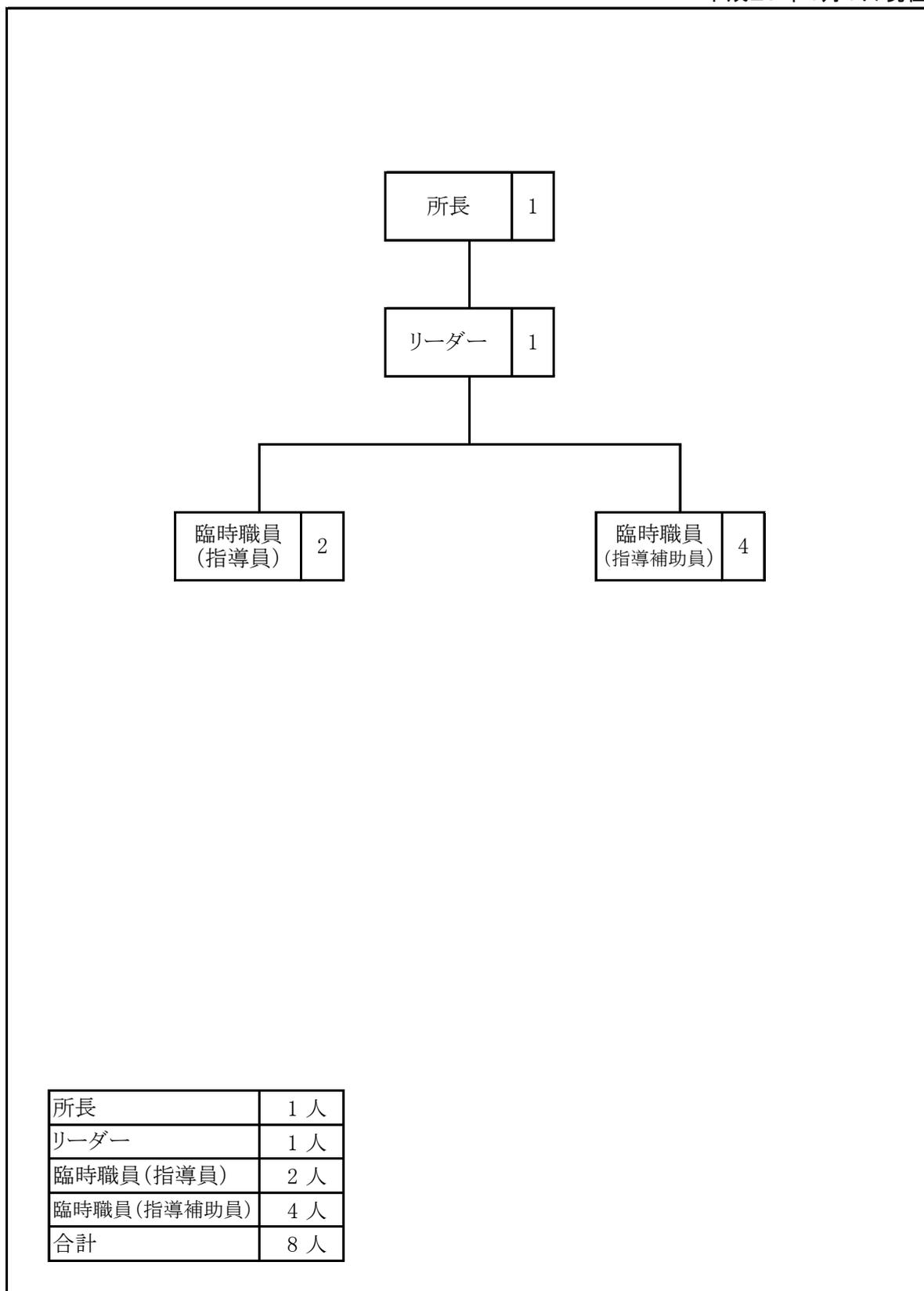
利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ターザンロープ継続 ・野外炊飯の道具などを持ち込まずに済めばもっと利用しやすい。 ・星座学習用レーザーポインタがあると便利 ・リーダー室にテレビが欲しい。翌日の天気を調べるためにインターネット環境が欲しい。 ・シートが二日宿泊する場合、2枚欲しい。 ・環境がとても良く、施設も快適で大変満足しています。また来年も来たいと思っています。 ・子ども達に丁寧にご指導いただきました。又、私達が困っている時にすぐに対応して下さりました。本当にありがとうございました。来年もよろしく願い致します。 ・スタッフの方が活動に温かい支援を下さったり、柔軟に活動変更にも対応して下さいました。とても有難かったです。本当ありがとうございました。 ・今後とも特別支援学校などもよろしく願います。 ・要望をたくさん聞いて頂いて、本当にありがとうございました。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ターザンロープについては、危険性から撤去したので理解をお願いした。 ・野外炊飯の道具は衛生管理面から持ち込みをお願いした。 ・レーザーポインタ等利用度の低い物については、持参を原則でお願いした。 ・テレビについては、施設の性格から客室には設置していない旨説明した。 ・ネット環境については、無線WiFiルーターを設置し対応した。 ・シートについては、過去の実績から現状の対応をお願いした。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	開設以来18年経過しているが、定期的に清掃や保守点検を実施し、適正に維持管理を行っている。	施設の維持管理については、とてもきれいに管理されていて、利用者にとって気持ちよい環境を提供している。
運営業務	利用者の多様な要望にも、できるだけ対応を行い、多くの利用者から感謝されている。今後とも利用者の満足度の向上と、利用者増に向け努力を行う。	業務計画のとおり、適正に実施されている。利用者の要望に丁寧に対応するなど利便性向上の取組が行われ、高い評価を得ている。
利用状況	県外利用者も多く、リピーター率も高い。首都圏に隣接する立地を生かし、PRに努めている。きめ細かな対応により、利用者も増えてきており、稼働率の増加につながっている。	PR活動に努め、県内外ともに利用者が増えている。リピーター率が高いことから、これまでの利用者を大切に、さらに、新たな利用者呼び込みたい。また、県内の学校、社会教育関係団体にも積極的にPR活動を行い利用者拡大を図りたい。
収支状況	経費節減に引き続き取り組んでおり、利用者増にもかかわらず、光熱水費が減少しており、節減の効果が出ている。今後も経費節減の努力を進めていく。	利用者が増えると経費の負担が大きくなる施設において、平成27年度、利用者が大幅に増加したが、上野原市の自主財源を充てる経費が減少していることから、経費削減に努めていることが伺える。
自主事業	自主事業については、回数を重ね、定着してきており、事業によっては定員を増やして対応している。	自主事業の「さとっ子クラブ」では、年間を通して定期的に行い、昨年度を上回る利用実績を残している。また、他の事業にもPRを行い参加者が増加し、全体の利用者増につながっている。現行の冬期の自主事業もあるが、閑散期の利用者を増やすためにも、新たな冬期の自主事業の開設も望まれる。
利用者満足度	「初心を忘れず、笑顔での対応、気持ちよく帰っていただく」ことをモットーに、対応しており、アンケートでも高い満足度をいただいている。	アンケート結果より、施設や活動内容、職員の対応について高い評価をいただいている。「また利用したいか」の問いに対して、回答者全員から「利用したい」の回答があり、今後についても、施設の維持管理をはじめ、質の高い指導やサービスを提供して欲しい。
運営目標の達成状況	H27 利用者数目標値 12,000人 実績 12,197人 H27 自主事業参加者数目標値 1,200人 実績 1,290人 当施設の利用についてリピーターが多く、さらに新たな利用者も増え、12,000人を超える利用となった。 また、自主事業についても、指導員がきめ細かな対応をすることにより、評判もよく参加者の満足度が高い。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設の維持管理については、非常に清潔に管理されていて、利用者にとって快適な環境を提供している。また、業務計画のとおり、適正に実施されている。利用者の要望に丁寧に対応するなど利便性の向上の取り組みが行われ、高い評価を得ている。利用者数全体の目標値12,000人に対して、利用者数12,197人と目標を達成したことは評価できる。県内外ともに利用者数が伸びているが、県内利用者数の拡大を図るため、県内に向けたPR活動を行い利用者を増やしていくとともに、閑散期(12月～2月)の施設利用を工夫し魅力ある新規自主事業の開発など施設の特性を十分に活用した取り組みに期待する。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	PR活動も、近隣の学校や関係施設にパンフレットを配布するなど努力しており、今後も続けていきたい。県内の利用者については、県東部に立地することから、東部地区の関係団体に対し、特にPR活動を強化していきたい。また閑散期の施設利用についても工夫や研究を進めたい。	

7 管理体制(組織図)

平成27年4月1日現在



施設創設の経緯

昭和63年度 「山梨県新総合福祉計画」に富士北麓・東部地域への青少年自然の里整備構想の推進が盛り込まれた。

平成3年度 「富士北麓・東部地域青少年自然体験施設整備構想庁内検討会」を設置。

平成5年度 「富士北麓・東部地域青少年自然体験施設整備構想検討委員会」設置。施設の機能、規模、適地条件等について検討。自然との調和を施設機能の基本とした。

- ・「豊かな自然に接し自然と人間の関わりを学ぶこと」
- ・「地域の伝統と伝承文化を学ぶこと」
- ・「勤労体験や自然保護の学習ができること」

国際化や情報化社会の進展、学校週5日制の実施など青少年を取り巻く環境が大きく変化し、豊かな自然環境の中で日常の学校生活では得がたい体験を通じて人間形成の基本を養うための自然体験施設を、未整備地域であった富士北麓・東部地域へ設置することとなった。

施設の概要と現状

- ・設置年月 平成10年7月14日
- ・設置場所 上野原市 桐原13880
- ・建設規模 敷地面積 約3.3ha
建物床面積 2,016㎡
- ・定員 宿泊棟 100人
キャンプ場 100人
- ・整備施設 県立＝本館棟、一般棟、家族棟、身障者棟、キャンプ場
市立＝地域交流館（多目的体験工房：ハンドクラフトや郷土食づくりなど多様な体験活動が可能。他に民族資料の展示など。）

当施設の年間の利用者数は、指定管理者制度を導入した平成18年度以降、新型インフルエンザや東日本大震災の影響があった年を除いて、1万人を超えており現在も増加が続いている。春先から初秋にかけては学校単位の利用が集中するものの、冬季の利活用を伸ばすために、自主事業の充実や同種の施設で組織しているネットワーク協議会等で、冬期プログラムの開発などに努めている。

施設の将来的なビジョン

当施設は、青少年の自立と社会性を育み、地域の文化、資源を生かした体験活動を提供する富士・東部地域における県内唯一の施設である。

学校教育法及び学習指導要領において、自然の中の平素とは異なる生活環境で、基本的な生活習慣や公衆道徳などの体験を積み、規律正しい集団宿泊活動、自然体験活動やボランティア活動など、さらなる体験活動の充実が求められている。

少子化、核家族化などの生活環境の変化で、日常生活の中での体験が少なくなっている季節感のある伝統的な地域文化に触れる「体験活動」は、五感を働かせて感性を磨き、集団活動の意義や郷土愛、豊かな精神を育む効果的な取り組みでもあり、今後さらにプログラムを発展させ、多くの青少年に体験活動の場を提供していかなければならない。

県として、すべての青少年が多様で豊かな体験活動を経験できる機会や環境を整備することが重要であり、山間地域の恵まれた自然環境の中で、風土に根ざした伝統文化や伝統産業に接することで、ふるさとを愛するたくましく心豊かな青少年を育ていく「教育施設」として、引き続き機能させていくことが必要である。

平成27年度ゆずりはら青少年自然の里 自主事業実施状況

月	日程		事業名	実人数
4月	11日(土)		さとっ子クラブ	250
	18日(土)～19日(日)	2日	春の自然塾	17
	29日(水・祝)		親子自然体験教室	28
5月	9日(土)		さとっ子クラブ	43
	16日(土)		さとっ子クラブ	36
6月	13日(土)		さとっ子クラブ	41
	20日(土)		さとっ子クラブ	44
7月	11日(土)		さとっ子クラブ	42
	12日(日)		さとっ子クラブ	38
	20日(月)～22日(水)	3日	ちびっ子キャンプ	47
	23日(木)～25日(土)	3日	ちびっ子キャンプ	37
8月	17日(月)～22日(土)	6日	さとやまキャンプ	17
10月	10日(土)～11日(日)	2日	さとっ子クラブ	42
	17日(土)～18日(日)	2日	さとっ子クラブ	33
	31日(土)～1日(日)	2日	秋の自然塾	19
11月	8日(日)		さとっ子クラブ	34
	15日(日)		さとっ子クラブ	28
	23日(月・祝)		親子自然体験教室	38
12月	5日(土)		もちつきサミット	63
	12日(土)		さとっ子クラブ	38
	19日(土)		さとっ子クラブ	32
1月	9日(土)		さとっ子クラブ	32
	16日(土)		さとっ子クラブ	41
	23日(土)～24日(日)		冬の自然塾	0
2月	6日(土)～7日(日)	2日	冬のちびっこキャンプ	30
	13日(土)		さとっ子クラブ	26
	20日(土)		さとっ子クラブ	33
3月	12日(土)		さとっ子クラブ	250
合計				1379

事業	対象者
さとっ子クラブ	小学2～6年生
季節の自然塾	小学3～中学3年生
ちびっ子キャンプ	小学1～3年生
さとやまキャンプ	小学4～6年生
餅つきサミット	小学生とその家族
親子事業	未就学児とその家族

ゆずりはら青少年自然の里 利用者集計表・稼働率

施設利用者数					
年度	一般棟	家族棟	キャンプ場	日帰り	計
10					(1,664)
11					7,157
12					7,931
13	6,214	342	646	565	7,767
14	5,713	303	443	1,766	8,225
15	6,319	242	605	1,683	8,849
16	6,502	291	855	1,006	8,654
17	7,968	573	984	1,505	11,030
18	7,800	250	838	1,977	10,865
19	8,349	318	749	1,759	11,175
20	7,995	488	1,182	1,932	11,597
21	5,164	818	738	1,971	8,691
22	6,377	1,010	884	1,637	9,908
23	6,167	1,030	872	1,362	9,431
24	7,197	1,370	984	1,809	11,360
25	7,530	778	1,085	2,275	11,668
26	7,237	973	972	1,995	11,177
27	8,234	944	975	2,044	12,197
平均	6,984	649	854	1,686	9,864

稼働率

H23	H24	H25	H26	H27
60.0%	69.0%	67.0%	60.4%	65.5%

稼働率の算定方法

延べ宿泊室利用日数(日帰り含む)
/ 利用可能日数

延べ宿泊室利用日数(日帰り含む)

H23	H24	H25	H26	H27
189	219	210	189	207

 (日)

利用可能日数

H23	H24	H25	H26	H27
315	317	313	313	316

 (日)

利用者別 施設利用者数											
年度	合計	小学校		中学校		高等学校		青少年団体		その他	
	延人数	延人数	%	延人数	%	延人数	%	延人数	%	延人数	%
13	7767	1,312	17%	509	7%	12	0%	3,939	51%	1,995	26%
14	8225	1,097	13%	454	6%	0	0%	5,618	68%	1,056	13%
15	8849	2,874	32%	630	7%	14	0%	3,494	39%	1,837	21%
16	8654	1,974	23%	543	6%	27	0%	4,562	53%	1,548	18%
17	11030	1,281	12%	1,149	10%	18	0%	5,718	52%	2,864	26%
18	10865	1,567	14%	941	9%	72	1%	6,177	57%	2,108	19%
19	11175	986	9%	689	6%	403	4%	5,831	52%	3,266	29%
20	11597	1,253	11%	512	4%	194	2%	4,991	43%	4,647	40%
21	8,691	1,313	15%	325	4%	101	1%	3,915	45%	3,019	35%
22	9,908	1,804	18%	338	3%	56	1%	3,728	38%	3,982	40%
23	9,431	1,670	18%	324	3%	324	3%	2,745	29%	4,368	46%
24	11,360	1,638	14%	1,004	9%	216	2%	3,214	28%	5,288	47%
25	11,668	1,594	14%	471	4%	654	6%	2,962	25%	6,459	55%
26	11,177	1,646	15%	739	7%	405	4%	3,039	27%	5,348	48%
27	12,197	1,739	14%	624	5%	491	4%	2,638	22%	6,682	55%

利用者別 利用団体数

年度	合計	小学校		中学校		高等学校		青少年団体		その他	
	団体数	団体数	%	団体数	%	団体数	%	団体数	%	団体数	%
13	127	14	11%	6	5%	1	1%	49	39%	57	45%
14	120	12	10%	5	4%	0	0%	74	62%	29	24%
15	112	34	30%	4	4%	1	1%	41	37%	32	29%
16	125	34	27%	4	3%	1	1%	57	46%	29	23%
17	155	15	10%	11	7%	1	1%	79	51%	49	32%
18	138	19	14%	8	6%	1	1%	77	56%	33	24%
19	140	11	8%	6	4%	6	4%	69	49%	48	34%
20	158	15	9%	5	3%	4	3%	63	40%	71	45%
21	169	25	15%	7	4%	3	2%	73	43%	61	36%
22	163	27	17%	6	4%	3	2%	59	36%	68	42%
23	154	22	14%	3	2%	5	3%	47	31%	77	50%
24	212	26	12%	18	8%	5	2%	57	27%	106	50%
25	235	37	16%	12	5%	13	6%	44	19%	129	55%
26	235	42	18%	13	6%	9	4%	53	23%	118	50%
27	260	48	18%	17	7%	14	5%	53	20%	128	49%

平成27年度 県内・県外 利用者別集計

年度	小学校		中学校		高等学校		青少年団体		その他		合計			
	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内		県外	
21	927	386	325	0	32	69	2,525	1,390	591	2,428	4,400	51%	4,273	49%
22	681	1,123	338	0	26	30	2,138	1,590	411	3,571	3,594	36%	6,314	64%
23	1,003	669	252	72	12	312	2,084	661	512	3,856	3,863	41%	5,570	59%
24	987	651	358	646	20	196	2,560	654	564	4,724	4,489	40%	6,871	60%
25	904	690	313	158	71	583	2,496	272	490	5,884	4,274	36%	7,587	64%
26	1,016	630	256	483	5	400	2,146	893	949	4,399	4,372	39%	6,805	61%
27	958	781	525	99	155	336	1,833	828	1,270	5,412	4,741	39%	7,456	61%

平成27年度 月別施設別稼働率(利用率)

月	一般棟		家族棟		キャンプ場		日帰り利用		開所日数
	利用日数	稼働率	利用日数	稼働率	利用日数	稼働率	利用日数	利用率	
4	14	53.8%	10	38.5%			17	65.4%	26
5	18	64.3%	15	53.6%			9	32.1%	28
6	10	40.0%	10	40.0%			11	44.0%	25
7	23	76.7%	19	63.3%	10	33.3%	13	43.3%	30
8	31	100.0%	26	83.9%	16	51.6%	2	6.5%	31
9	17	65.4%	14	53.8%			7	26.9%	26
10	15	55.6%	11	40.7%			6	22.2%	27
11	9	37.5%	4	16.7%			7	29.2%	24
12	0	0.0%	0	0.0%			3	12.5%	24
1	2	8.7%	0	0.0%			2	8.7%	23
2	4	16.7%	0	0.0%			4	16.7%	24
3	8	28.6%	6	21.4%			7	25.0%	28
年間	151	47.8%	115	36.4%	26	42.6%	88	27.8%	316

一般棟利用

	団体数					実数			延べ数				
	総数	県内	%	県外	%	総数	県内	県外	総数	県内	%	県外	%
21	63	30	48%	33	52%	3063	1232	1831	5164	2182	42%	2982	58%
22	70	33	47%	37	53%	3798	1095	2703	6377	1849	29%	4528	71%
23	73	33	45%	40	55%	3643	1306	2337	6169	2309	37%	3860	63%
24	84	38	45%	46	55%	4417	1302	3115	7197	2388	33%	4809	67%
25	82	31	38%	51	62%	4697	1312	3385	7530	2296	30%	5234	70%
26	69	32	46%	37	54%	4442	1364	3078	7237	2400	33%	4837	67%
27	85	35	41%	50	59%	4924	1499	3425	8234	2733	33%	5501	67%

家族棟利用

	団体数					実数			延べ数				
	総数	県内	%	県外	%	総数	県内	県外	総数	県内	%	県外	%
21	34	10	29%	24	71%	479	111	368	800	199	25%	601	75%
22	38	10	26%	28	74%	600	134	466	1010	247	24%	763	76%
23	36	6	17%	30	83%	610	99	511	1030	176	17%	854	83%
24	56	20	36%	36	64%	842	184	658	1370	332	24%	1038	76%
25	46	9	20%	37	80%	718	117	601	1154	200	17%	954	83%
26	45	11	24%	34	76%	598	103	495	973	174	18%	799	82%
27	60	21	35%	39	65%	569	115	454	944	205	22%	739	78%

キャンプ場利用

	団体数					実数			延べ数				
	総数	県内	%	県外	%	総数	県内	県外	総数	県内	%	県外	%
21	10	4	40%	6	60%	495	77	418	738	125	17%	613	83%
22	10	2	20%	8	80%	590	47	543	884	86	10%	798	90%
23	10	4	40%	6	60%	546	99	447	872	186	21%	686	79%
24	13	3	23%	10	77%	602	100	502	984	234	24%	750	76%
25	12	1	8%	11	92%	706	29	677	1085	58	5%	1027	95%
26	12	3	25%	9	75%	649	76	573	972	152	16%	820	84%
27	17	3	18%	14	82%	654	79	575	975	158	16%	817	84%

日帰り利用

	団体数			実数				
	総数	県内	県外	総数	県内	%	県外	%
21	62	55	7	1971	1894	96%	77	4%
22	45	37	8	1637	1412	86%	225	14%
23	35	28	7	1362	1192	88%	170	12%
24	59	38	21	1809	1535	85%	274	15%
25	87	50	37	2092	1720	82%	372	18%
26	109	69	40	1995	1646	83%	349	17%
27	98	61	37	2044	1645	80%	399	20%

県支出の修繕費、備品購入費等一覧

(別紙1)

(単位:円)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
指定管理費	25,756,000	25,530,000	25,756,000	25,530,000	25,756,000	34,104,000	34,360,000	33,948,000	35,176,000	35,100,000	
県支出	施設修繕・改修費 (20万円以上/件)				968,730	392,700	268,800	2,750,830	428,323	428,112	
	備品修繕費 (万円以上/件)					ガス炊飯器	雪害緊急屋根修繕に係る費用 2,349,900円を含む。				
	備品購入費			75,936	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	75,936	968,730	392,700	268,800	2,750,830	428,323	428,112
	施設火災保険	270,013	270,013	200,440	200,440	141,487	141,487	141,487	11,611	11,611	11,611
	損害賠償(施設の瑕疵)						54,690	54,690	54,690	54,690	54,690
	その他()										
	合計	270,013	270,013	200,440	276,376	1,110,217	588,877	464,977	2,817,131	494,624	494,413

指定管理者との基本協定書に基づき県が負担する事項(金額)について記載してください。

他に支出がある場合は、「その他()」に項目を追加してください(複数項目ある場合は行を追加してください)。